

森・川・海をつなぐ九州・山口行動推進宣言～佐賀宣言

九州・山口地域は、豊かな森、清らかな川、豊饒な海など恵まれた自然環境を有しており、その恩恵は、農山漁村に住む人々だけでなく、森・川・海の大きな循環を通して、都市住民も含めたあまねく人々が享受している。

この恵まれた自然環境は、そこに暮らす人々が利用し、手を加えることで育まれ、保たれてきた。

しかしながら、時代の変遷の中で、産業構造や人々の生活エリアが変化し、また近年は人口減少や高齢化の進行が大きな課題となっている。

そうした中で、森林が持つ保水力や豊かな栄養供給力が失われ、人工林の荒廃、河川への土砂流入・堆積、耕作放棄地の増加、干潟や藻場の消失など、森・川・海につながりが薄れ、災害の発生など多くの問題が発生している。

国においては、国土の保全や水源の涵養、快適な生活環境の創出など、森林の持つ多面的機能を将来にわたって持続できるよう、森林環境税(仮称)を創設し、新たな森林経営のあり方も検討されている。

森・川・海がつなぐ貴重な自然環境によって、我々の日常生活は支えられている。これまでも、様々な場面で環境保全活動が行われているが、今一度、その原点に立ち返り、以下の取組を推進することをここに宣言する。

1. 森・川・海がひとつにつながっているという認識を新たにし、その豊かな自然を守り、未来に継承していくため、一人ひとりの更なる環境意識を醸成する
2. 様々な環境保全活動の裾野を拡大し、県境を越えた九州・山口全域での取組としながら相互の交流を進め、持続的な活動へ発展させる

平成30年5月22日

九州地方知事会 会長 広瀬勝貞